

## 平成 29 年度の実証対象技術分野の見直しについて（案）

### 1. 平成 28 年度の実証対象技術分野別の進捗について

平成 28 年度環境技術実証事業の実証対象技術分野として、今年度から新たにスタートしたテーマ自由枠のほか、8 技術分野を設定して技術の募集を行い、実証を進めているが、地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術）（以下、照明分野）では実証申請数が 0 件であった。

照明分野以外の分野に関しては、今年度採択した技術以外にも問合せ等がきており、次年度以降も継続的な実証申請が見込めると考えられる。照明分野の今後の取扱いについては、2. にて検討を行うこととする。

### 2. 照明分野の今後の取扱いについて

#### （1）これまでの経緯

照明分野は平成 23 年度に分野が設置され、実証件数は平成 23 年度に 5 件、平成 24 年度に 8 件となっている。平成 25 年度は申請が無かったが、平成 26 年度には新たに昼光導入装置の実証方法の検討を行い、昼光導入装置に関する技術 2 件を実証した。

しかしその後、平成 27～28 年度の 2 年は連続して申請が 0 件となっている。

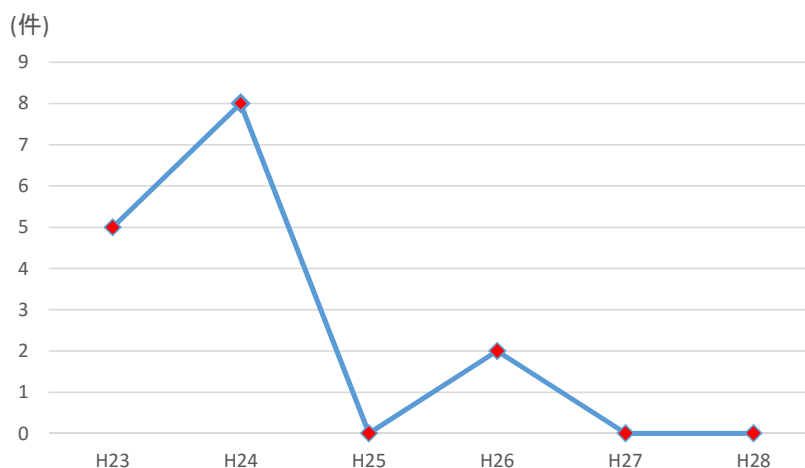


図 照明分野の実証件数の推移

#### （2）実証機関の対応状況

申請件数が 0 件である状況を受け、実証機関では、委員・関係者などに申請の可能性のある技術の紹介を依頼している。実証申請に関する問合せ等の状況を下表に示す。

しかし、これらは現状としては申請には繋がっていない。

表 実証申請に関する問合せ等の状況

会社名	対象技術	相談内容	申請しない理由	連絡手段	過去の 実証の 有無
スカイプランニング	トップライト	実証試験料金 実証試験方法	予算の都合	メール	有
ラフォーレ・エンジニアリング	光ダクト	実証試験料金 実証試験方法	社内のコンセンサスが 取れていない。	メール	無
スリーエム・ジャパン	採光フィルム	実証試験料金 実証試験方法	予算の都合	メール	無
牛久工務店	光ダクト	実証試験方法 実証試験料金	予算の都合	メール	有
KOHDEN		実証試験料金	—	メール	無
タキロン	採光建材	事務局からの説明	社内のコンセンサスが とれていない。	口頭 展示場	無
サイクローム	光ダクト	事務局からの説明	—	口頭 展示場	無

(3) 照明分野の今後の取扱い(案)

次年度の実証件数の確保が困難であることから(今年度の当初想定数は4件)、平成29年度以降は照明分野を休止とし、照明分野の関連技術については、テーマ自由枠において受け付けることとしたい。

3. 平成29年度の実証対象技術分野(案)

下表に示す8分野(テーマ自由枠を含む)とする。

国負担体制(原則)	・テーマ自由枠
手数料徴収体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小水力発電技術分野</li> <li>・自然地域トイレし尿処理技術分野</li> <li>・有機性排水処理技術分野</li> <li>・閉鎖性海域における水環境改善技術分野</li> <li>・湖沼等水質浄化技術分野、</li> <li>・ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術)、</li> <li>・ヒートアイランド対策技術分野(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)</li> </ul>

以上